

# 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成29年11月1日 (水)発行

## 目次

- 1 会津農林事務所の取組紹介
- 2 会津農林事務所からのお知らせ



## 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動」会津地方かわら版について

会津地方推進本部では、新生ふくしまの『食』と『ふるさと』の実現に向け、農林業者、県民、関係機関・団体が一体となり、様々な運動を展開しています。会津地方の農林業者の取や、各部・所の取組、各種研修・イベント等の情報を発信するため、会津地方かわら版を発行しています。



## 会津農林事務所の取組紹介

### ○「農家民宿モニターツアー(奥会津グリーン・ツーリズム若者交流事業)」を実施しました。

過疎・中山間地域の振興を図ることを目的に、奥会津地域において2件の農家民宿モニターツアーを実施しました。この事業を通して、若者が奥会津の農家民宿に宿泊し、農作業、郷土料理・地域の伝統文化等を体験することで、奥会津への理解を深めるきっかけとし、奥会津や農家民宿の魅力をSNSで広く発信することや、若者の視点による体験プログラムの提案をしていただきました。

1件目は、県内の大学生5名が9月4日から6日の3日間にわたり、金山町の農家民宿で白菜の苗植えやきゅうり棚の撤去などを体験しました。また、9月5日には山入地区周辺住民による芸能発表…唄やひょっとこ踊り、山入歌舞伎という農村歌舞伎を観覧し、町民の方々が賑やかに地域芸能を楽しんでいる雰囲気も含めて楽しみました。

2件目は、会津若松市内等の企業の若手社員6名が9月23日から24日の2日間にわたり、柳津町の農家民宿でブルーベリーの苗植えや蜂蜜採取などを体験しました。参加者からはオーナーとの交流を通して居心地の良い時間を過ごすことが出来、またぜひ泊まりに来たいとの声が多くありました。定植したブルーベリー苗は5年後に実るそうで、今回の同期や同僚と、または家族や友達を連れて自分たちで植えたブルーベリーを食べに来てもらえたら嬉しいですね。

皆さん意欲的に活動され、「自分の主体性も養うことができたのではと感じた。」、「会津出身だが、まだ知らない会津がたくさんあると思った。会津の人にも、そのような機会がもっと増えたらいいと感じた。」と、有意義な交流の場となりました。

【企画部】



ブルーベリー畑にて



蜂蜜の採取体験

## ○イオン福島店で「奥会津いいもの物産フェア」を開催しました。



奥会津の特産品の知名度向上、販売促進及び観光誘客の増加を図るため、会津農林事務所主催、奥会津五町村活性化協議会が共催となり、10月13日(金)・14日(土)・15日(日)の3日間、大手量販店のイオン福島店にて奥会津特産品の販売や観光 PR を行いました。会場内の各コーナーでは、赤べこの絵付け体験や、わらびやうど等の山菜と赤かぼちゃ・マコモタケなどの農産物、ほおずきジャム、えごまドレッシング、桐炭麺などの6次化商品の対面販売がお客様に好評で、粟まんじゅうの実演販売では終日お客様が列をなして買い求めていました。

初日13日には、物産フェア開催を記念した開会セレモニーや、奥会津5町村の見どころを紹介するアピールを行ったほか、ライシーホワイトによる小湊愛巳さんの会津産新米のPRスピーチがありました。14日には奥会津地域をテーマとした只見線沿線クイズでの正解者へ「天のつぶ」をプレゼントし、消費者の購買意欲向上と会津米のPRにもつなげました。また、お買い上げいただいた方を対象としたガラポン抽選会では、からむし織のしおりなど奥会津の品々を景品にして、子どもからお年寄りまで楽しんで参加いただきました。

急に秋めいて寒くなった3日間でしたが、多くの方が来場し、大盛況のうちにイベントを終えることができました。来場者の方からは、「珍しい物に出会えた。」や「地元の方々の一生懸命のアピールがとてもいいと思います。」「また開催して欲しい。」などの感想をいただき、次回への励みとなりました。

今後も PR イベントを開催し、奥会津の魅力を広めるために取り組んでまいります。【企画部】



オープニングセレモニーのようす



販売のようす

## ○第3回「おいしいふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。



10月8日(日)に今年度第3回目の「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを道の駅あいづ湯川・会津坂下「第12回湯川村新米祭」にて開催しました。

今回PRのために試食提供したのは、湯川村産コシヒカリを使用した米粉バウムクーヘン、会津中央乳業ヨーグルトと「やまひろファーム」のフルーツソースです。うつくしまライシーホワイトの星野雅子さんにご参加いただき、会津産新米のPRも行いました。

多くの方がキャンペーンブースを訪れ、福島県産農産物の消費動向等に関するアンケートにご回答頂き、回答者先着400名様は、プレゼントの会津坂下産リンゴとナシを笑顔で受け取っていました。来場者の方からは「米粉バウムクーヘンが美味しかった」、「会津産農産物のPRをもっとして欲しい」などのお声をいただき、好評のうちにキャンペーンを終えることができました。【企画部】



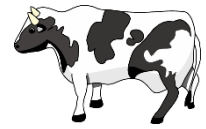
キャンペーンのようす

## ○7年ぶりの放牧再開をめざして。

喜多方市塩川町の扇ヶ峰牧野は雄国山麓に位置し、古くから乳用牛の放牧場として地域の酪農振興に大きく寄与してきました。しかし、東日本大震災に伴う原発事故の影響により今日まで放牧ができない状況が継続しており、これまで放牧場を利用してきた酪農家にとって大きな問題となっていました。

このため、牧野を運営してきた喜多方市牧野組合では市役所や当普及所等と打合せを重ね、「福島県営農再開支援事業」を活用した放牧場の再生を決定し、本年度事業の採択を受け再生事業に着手しました。放牧場は傾斜が急で石礫も多いことから、施工業者もストーンクラッシャーを使用しながら時間をかけて工事を進めてきましたが、10月6日には牧草の播種作業が終了しました。牧野組合と関係機関が連携し、来年からの放牧再開を進めてまいります。

【喜多方農業普及所】



傾斜地での播種作業

## ○奥会津地域特産エゴマ機械化栽培現地検討会(第3回)を開催しました。

奥会津地域特産エゴマの生産振興を目指してシリーズで開催しています機械化栽培現地検討会の第3回目を、10月17日に開催しました。

今回は、エゴマ栽培に取り組んでいる上横田農用地利用改善組合(金山町)と桐の里産業株式会社(三島町)に協力をいただき、汎用コンバインによる収穫作業と専用の洗浄機による洗浄作業の実演を行いました。エゴマの刈り取りや実の洗浄は、通常手作業で行っているため、多くの労力が必要ですが、エゴマの実を傷めることなく迅速に収穫・洗浄できる機械の能力(早さ・仕上がりの良さ)を、参加した生産者は実感していました。

12月には、シリーズのまとめとして、奥会津に適したエゴマの機械化栽培技術、エゴマの消費拡大、先進地事例紹介等のセミナー開催を予定しています。これらの取り組みを通して、エゴマ栽培面積の拡大と品質の向上につながることを期待しています。

【会津坂下農業普及所】



生産者、関係機関など24名が参加して開催



専用の洗浄機による洗浄作業の実演



## 会津農林事務所からのお知らせ



### ○野原勇一さん(西会津町、菌床しいたけ生産)が県内初のFGAP認証を取得しました。

本年7月にスタートした福島県独自のGAP認証制度である「FGAP」について、会津農林事務所森林林業部において、管内のきのこ生産者に対して認証取得を積極的に働きかけた結果、西会津町で菌床しいたけの生産に取り組んでいる野原勇一さんが、本年10月17日に、県内第1号となるFGAP認証を取得しました。

認証取得が決まったことについて、野原さんは、「普段やっていることが認められて良かった」、「家族経営から一歩前に進めた。高い品質や安定的な出荷を目指したい。」と、今後の意気込みを語っておられました。これを契機に、野原さんが核となり、野原さんが所属する農事組合法人「会津きのこ工房」(西会津町)や西会津町内外の地域においても、認証取得が進むことが大いに期待されるようです。



外部機関によるFGAP認証に関する審査の実施状況(中央奥が野原さん夫妻)

【森林林業部】

### ○「新宮川ダム」にてダムカードを作成しました。

平成29年10月から新宮川ダムにて下記によりダムカードの配布を始めました。会津美里町へお越しの際は、町中から少し遠いですが、会津宮川の水田を潤している新宮川ダムへ是非お立ち寄りください。

(1) 配布場所・住所

会津宮川土地改良区(新宮川ダム管理所では配布しておりません)  
会津美里町字油田1545番地

(2) 配布日時

8:30~17:00(土日、祝日、年末年始は配布しておりません)

(3) 問合せ先

新宮川ダム管理所 0242-55-5530  
会津宮川土地改良区 0242-54-7154

(4) アクセス方法

【新宮川ダム】磐越自動車道 新鶴スマートIC から昭和村方面へ車で約35分  
【配布場所】磐越自動車道 新鶴スマートIC から昭和村方面へ車で約15分

(5) その他

配布場所とダムは離れた場所にあり、ダムカードを配布する際は、ダムに行った証明(写真、引換券等)が必要となりますのでご注意ください。



【表】



DAM-DATA	
所在地	福島県大石郡会津美里町松坂
河川名	国賀郡川俣新宮川
型式	重力式コンクリートダム
ゲート	非開閉型(ゲートレス)
	多段式4段シランダーゲート
	ダネ式フローラート水門
	両柱スライドゲート×2門
堤高・堤頂長	69m・325m
総貯水容量	1,032万m <sup>3</sup>
管 理 者	福島県
お竣工年度	1964(1963年)
ホームページ	http://www.azumi-dam.jp/

【裏】

### 【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局  
(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)  
〒965-8501  
福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)  
TEL (0242) 29-5369 FAX (0242) 29-5389  
E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

